

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



GSU021-04

会場:301A

時間:5月22日 11:30-11:45

小学校教員養成課程大学生の地学領域の指導に対する意識とその改善の方策 Recognition and solution of instruction ability on Earth Science field of elementary science education of the university

川村 教一^{1*}

Norihito Kawamura^{1*}

¹ 秋田大学

¹ Akita University

【経緯】

秋田大学が平成 21 年度に実施した秋田県小学校教員に対する理科教育に関するアンケート調査結果では、指導が苦手だと感じるのは生物や地学領域が他の領域よりも多い。しかしこれらを改善するための研修について、教員間のニーズは高いとはいえない。

【発表の目的】

教員養成においてこのことが解決可能かどうかを検討するため、教員養成課程に在学中の大学生に対するアンケート調査を行った。本発表ではその結果について分析を行う。

【調査結果】

秋田大学教育文化学部学生のうち、小学校教員免許取得希望者に対するアンケート調査結果では、理科の他の領域と比べ、地学領域の指導をする自信が有る学生が特に少ないとは言えず、理科全科目にわたり自信がない学生が大半である。

【分析】

調査対象の大学生の高校で地学の履修率は低く、ほぼ全員が大学入学時の地学領域の理解は中学校理科程度にとどまる。

大学の教育課程において、教科に関する指導法についての授業では、小学校理科に関する内容をすべて扱うのに十分な時間がなく、大学で学ぶ機会が十分に確保されているとは言えない。一方で、大学生は小学校理科の指導に不安を持っているが、特別授業（いわゆる課外授業）など必修科目以外の学習の場を用意しても積極的に学ぼうとはしない傾向にある。

【議論】

分析結果からは、4 年制大学で理科の指導について、根本的な解決策の方向性は見いだせない。大学入学前に地学領域の学習項目についての理解を深めさせたい。しかし、高校での地学の履修率は低く、新指導要領における「地学基礎」の開設により若干改善されたとしても、教員養成課程学生の地学に関する学力が根本的に改善される見込みはない。

地学ほか各科目の内容から構成される、高校での必修科目としての理科が必要ではないか。昭和 53 年改訂の高等学校学習指導要領には必修科目である「理科」が設置されたが、次の学習指導要領改訂時には残らなかった。しかし、現代的な理由から、理科必修科目のあり方を検討することを提案する。

キーワード: 地学教育, 教員養成, 大学生, 高校理科, アンケート

Keywords: Earth Science education, Training of teacher, University student, Science for high school student, Questionnaire